**倉敷市公共事業景観ガイドライン チェックシート**

| 道 路<br>（詳細設計） | 令和　　年　　月　　日作成 |
|---|---|

【景観形成の目標・方針】

| 留意事項 | | CHK | 具体的な配慮の内容（又は対応できない理由） |
|---|---|---|---|
| 道路計画 | 大規模な法面や擁壁等の発生を出来るだけ避け自然地形を活かす | □ | *※実行する具体的配慮内容を記述。但し、実行不可の場合はその理由を記述* |
| | 大規模な法面や擁壁等が発生する際は圧迫感の軽減等を工夫する | □ | |
| 車道舗装 | 舗装は素材色を基本とする | □ | |
| | カラー化をする場合でも、低彩度、低明度の色調を基本とする | □ | |
| 歩道舗装 | 周辺に馴染み、自然の素材感を感じられる素材・色彩を基本とする | □ | |
| | 複数色を用いる場合は、同系統の濃淡とすることを基本とする | □ | |
| 誘導ブロック | 黄色を基本とするが、景観的に違和感のない色彩を選定する | □ | |
| 道路付属物・占用物 | すっきりとした空間の形成、他の工作物・周辺環境との調和を図る | □ | |
| | 地域や道路と関係のないモニュメント等は基本的に設置しない | □ | |
| | 主要幹線や景観形成を推進する地区等では電線類地中化を図る | □ | |
| 植栽 | 地域条件・環境に適した植物を選定し適切な間隔・密度で植栽する | □ | |
| その他の配慮事項 | | | |

【課題等、次の段階へ引き継ぐ事項】

【添付資料】

□案内図　□配置図　□平面図　□立面図　□断面図　□パース　□模型写真

□現況写真　□その他（　　）